

令和2年9月15日

釧路信用組合

### 第10回経営審査会議の概要について

当組合は、理事会の諮問機関として外部有識者で構成される「経営審査会議」を設置しております。外部有識者より経営全般について助言・提言を受け、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第10回経営審査会議」を開催致しましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

#### 記

1. 日時 令和2年8月19日（水） 15時～16時5分

2. 場所 釧路信用組合 本店5階 大会議室

3. 出席者 （経営審査委員）

尾崎 泰文	釧路公立大学経済学部	教授
簗島 弘幸	稲澤法律事務所	弁護士
清水 政秀	釧路商工会議所	事務局次長

（事務局）

忠村 浩志	理事長
小西 卓哉	常務理事
堀 充利	常勤監事

4. 事務局からの資料説明要旨

令和元年度決算状況、第二次経営強化計画の履行状況、令和2年度事業計画および現在の収支状況について説明。1名欠員となっていた本審査会議の補充がなされ3名での会議となったことを併せて説明しました。

## 経営全般についての意見交換

### (1) 出席者から頂いた助言・提言等

- コロナ禍における営業スタイルについて質問があり、今後の状況が見通せない中、顧客との接触については工夫しながら営業を進めていただきたい。
- コロナ禍における企業動向は、「嵐の前の静けさ」と感じている。組合の未保全率が高いことから更に注視願いたい。
- コロナ禍における融資手続きにおいて、事業者は金融機関をチョイスしており、組合として事業者から選ばれるような行動をしてもらいたい。
- コロナ禍に係る職員の行動にも注視しフォロー・ケア願いたい。
- 定期性預金の減少が続いているようであるが、コロナ禍の影響によるものなのか。  
回答： コロナ禍における影響はあまりなく、下記要因と考える
  - ・ 預金者の高齢化死去に伴う相続による預金流出
  - ・ 高齢化により利便性を考慮し定期性から流動性への預金シフト
  - ・ 高齢化による施設入居費用、医療費等による解約
- ここ数年、不良債権比率が減少しているが、コロナ禍での上昇に留意願いたい。

### (2) 忠村理事長からの回答

- 多くの貴重な意見いただき感謝申し上げます。  
今期からスタートしております第三次経営強化計画は、コロナ禍の影響前に策定されたものであり、ご指摘いただいた意見を踏まえ、影響度を注視しながら経営にあたっていきたいと考えております。  
本日は、長時間に亘ってありがとうございました。

以 上